

カミュ作「カリギュラ」

191106

幕	場	場面	内容	頁		主な登場人物						見どころ
第一幕 28頁	1	カリギュラの失踪	宮殿に貴族たちが集まり、皇帝失踪の理由が愛する妹ドリュジラの突然死が原因だろうと推測する。近衛隊長のケレア達は、このままなら、皇帝をかえるしかない、と話す。	9	16	エリ コン		シビ オン	ケ レア	貴族 老貴族		
	2	月を求めるカリギュラ	理想主義者のカリギュラは、隊長エリコンに、月を探しに行っていた、と言う。ドリュジラが死んだから気が狂ったのではなく、死がきっかけで、「人間はすべて死ぬ、だから人間は幸せでない。」という真理に気づいた。そして、その真理を求めると不可能なもの、つまり月が必要なのだ。そして、エリコンに月探しに協力するよう頼む。	17	24	セゾ ニア	エリ コン	カリ ギュラ	シビ オン			
	3	不可能を求める	財政改革を行う理由 カリギュラは、健全な国家財政が重要という財務長官に、ローマ市民にすべての遺産を国家が受け取る遺言書を作成するよう命令する。そして任意のリストに従い殺害していくことにする。つまり財政が大事という論理にかなう政策である。カリギュラは、権力を持っているので不可能なことはなく、市民から直接財産を盗むことも、自由に振る舞うことにも限界はない、不可能を可能にするのが目的なのだ、と言い、かつて理想的といわれた皇帝から豹変する。カリギュラは、挨拶に来たケレアに、「自由とともに試練が始まることを、みなに告げよ！」	25	30	セゾ ニア		カリ ギュラ	シビ オン	ケ レア	財務長官	
	4	カリギュラは神より上を目指す	「泣いているの？」セゾニアが声をかけ、眠れば肉体の苦しみも和らぐと助言するが、眠ることは、すべてを任せてしまうということ、それでは権力をもった意味がない。「人を不死にするような万物の有り様を変えれないなら、この権力がなんになる。」それは神の仕事よ、と応えるセゾニアに「おれが望んでいるものは、自らが神より上を目指していることを宣言する。」「おれはこの時代に、平等という贈り物をしてやる。すべてがまったいらになったとき、はじめて不可能が地上に存在し、月が俺の手に入り、そうやって初めて、人間たちは死なずにすみ、幸せになるのだ。」彼は、銅鑼を打ち鳴らし、セゾニアには非情な女になるよう命じ、鏡いっぱいになり、勝ち誇った声で「カリギュラだ！」という。	31	37	セゾ ニア		カリ ギュラ				
第二幕 35頁	1	財産没収 売春宿 家族処刑	貴族たちがケレアの屋敷に集まり、カリギュラが3年もの間、貴族たちの財産を没収したり、妻をさらって売春宿で働かせたり、父や息子を処刑したりしたことへの、怒りと怨嗟の言葉ばかり言う。カリギュラを敬愛していたシビオンも、父を目の前で殺されたことで、憎しみがつのっている。興奮した貴族たちは武器を手にとったところで、ケレアが帰ってくる。	38	39			シビ オン		貴族 老貴族 ミュシュス		
	2	クーデターへの期待①	ケレアは、カリギュラが暴挙をする理由がわからないので、クーデターを起こすには時期尚早だとする。かつて、権力をこのように際限もなく行使したことは無い。貴族たちはもう少し様子を見ることにする。エリコンとセゾニアが来て、みなのためには皇帝もご存知でクーデターを望んでいるふしもあるのだと……	40	46	セゾ ニア	エリ コン		ケ レア	貴族 老貴族 ミュシュス		
	3	奴隷解放 処刑 強姦	カリギュラは、①財政再建のために召使の数をへらし、奴隷を解放する。②予定通り任意に騎士リュフィュスを理由もなく処刑し、③レビデュスは息子を処刑されたにもかかわらず、もう一人の息子を殺されたくないなら、笑えと命じられ、④ミュシュスは妻を彼の肉欲の慰みにさしだすよう命じられる。「セゾニア。これで万事おしまいだぞ。礼儀も対面も、世間の目も、国民の知恵も、何もかももう全く無意味になってしまった。すべてが恐怖の前に消えうせていく。恐怖さ、セゾニア、混じり物のない、純粋で、公平無私なこのうわしい感情、腹のそこから出てくる数少ない高貴な感情の一つだからな。」	47	56	セゾ ニア	エリ コン	カリ ギュラ	ケ レア	ミュシュ ス レビデ ュス 老貴族 財務長官 貴族		
	4	食糧庫封鎖	カリギュラは、自分に自由に権力行使できることが少ないので、国家の食料庫を封鎖し、人為的に飢饉を起こす考えを披露し、死刑についても見直しを考えているとのこと。「死刑執行は苦しみを除き、人間を解放する。その意図ならびに適用において、それは普遍的にして、かつ人間に勇気を与え、かつまた公平無比のものである。人は罪あるがゆえに死す。人はカリギュラの臣下たるゆえに罪あり。しかるに、すべての者はカリギュラの臣下なり。ゆえに、全てのものは有罪であり死ぬ、つまり時間と忍耐の問題に過ぎない。」	57	58		エリ コン	カリ ギュラ			財務長官	
	5	ぜんそくの薬	ぜんそくの薬を飲もうとしているメレイアに無理やり毒を飲ませ、彼を死に追いやる。少し動揺するカリギュラ。「かまうものか。しょせんは同じことだ。少しばかり早い、少しばかり遅いか……。」とつぶやき、その場を去る。	59	64	セゾ ニア	エリ コン	カリ ギュラ		ケ レア	メレイ ア 貴族 レビデ ュス	
	6	シビオンの父	セゾニアは、カリギュラを憎んでいるシビオンに「お父さんが舌を抜かれたときのあの苦悶に満ちた顔を思い浮かべ、次にカリギュラを浮かべ、いいわね。あの人を理解しようとしなさい。」と然然としているシビオンを残して、彼女は出ていく。	65	66	セゾ ニア			シビ オン			
	7	クーデターへの期待②	エリコンはシビオンに、「カリギュラが戻る前に食事に行ったらどうだ」、と言い「お前さんがカリギュラを殺そうと思っていることも……そしてあの人のほうでもそれを不愉快には思っていないということもな」	67	67		エリ コン		シビ オン			
	8	カリギュラの孤独について シビオンとの論争	カリギュラは、シビオンのような透明な心を持つことが出来たらな！お前は別の世界の人間だ。お前は善のなかで純粋なのだよ、ちょうど俺が悪のなかで純粋なように。ただし、シビオンには「血」が抜けている、とカリギュラは言う。シビオンは、カリギュラの孤独感を「いまわしい」と言うので逆上したカリギュラは、一本の木の静けさと震えを味わうことができた、と言う。シビオンは、カリギュラの後ろにまわって、優しくいたわり、「どんな人も人生の中に一つの優しさを持っているが、あなたは何を？」「他人を軽蔑することさ。」	68	73			カリ ギュラ	シビ オン			

第三幕 24頁	1		ヴィーナスの 衣装を着る	芝居小屋の客席には、何人かの貴族とシビオンが座り、エリコンが垂れ幕を引くと、カリギュラが、グロテスクなヴィーナスの衣装をまとい、愛想良くせりふを言う。「ヴィーナスとごさい。」	74	78	セゾ ニア	エリ コン	カリ ギュラ				貴族	
	2	クー デター の発 覚	神に怒るシビ オン	ヴィーナスへの祈りを非難するシビオンに対して、カリギュラは「権力を愛する男にとっては、神々の愚劣な仕事ぐらいやってのけることが出来る、そして、神々と肩を並べる方法は、神々と同じく残酷になることだと悟った。」と答える。シビオンが、「暴君」というので、カリギュラは、自分の野心のために権力を行使しているのではないので暴君ではない、と否定し、俺が権力を行使するのは、神々の愚かしさと憎しみ、それに対する埋め合わせだ」「先ほどの祈りは、芝居であり役者の芸である。」エリコンは、足のつめの手入れに余念のないカリギュラの周りをまわる。	79	84	セゾ ニア	エリ コン	カリ ギュラ	シビ オン				
	3		証拠の 回状板	カリギュラはエリコンから、ケレアをリーダーとするクーデター計画の証拠となる回状板があると報告を受ける。そして、老貴族も同様の報告をするので、カリギュラは、貴様がどういう人間か、よくわかっている。貴様も裏切ること死ぬことも望んでいるはずがない。」今言ったことは、冗談だったのだな？と念をおす。「それなら、もうよい、帰れ。」	85	89		エリ コン	カリ ギュラ				老貴族	
	4		論理的な行動 で突き進む	カリギュラは、鏡に向かって「お前は論理的であろうと決心した、どこまで行けるのか？月があれば、不可能なものが可能になる、ただ、誰かが月を持ってきて、俺は元へ戻ることはできないので、権力を行使して論理で突き進むだけだ。	90	91			カリ ギュラ					
	5		クーデターを 許可する	カリギュラは、ケレアを呼んでよまや話をしようとしたが、無理だということでお互い装って話をしたが、結局腹を割った話のできたので、ケレアは謝罪する。カリギュラはクーデターの証拠となる回状板を出すので、「人間一人殺すのにあなたでも証拠が必要なのか」と質問するので、「論理的でない世界は、肩がこらず息抜きになる。」と言う。カリギュラは、ケレアの回状板を燃やしながら、「お前の皇帝は休息を求めている。」と言い、お前の考えを通すよう言う。	92	98			カリ ギュラ		ケ レ ア			
第四幕 35頁	1	カリ ギュラ の ゲ ー ム	ケレアとシビ オンの論争	ケレアは、カリギュラ暗殺には尊敬に値する保証人が必要なので、シビオンに同志となってくれと頼むが、拒否される。シビオンは「ぼくの不幸は、自分自身の苦しみ他に、カリギュラの苦しみまで苦しんでいるからだ。」	99	102		エリ コン		シビ オン	ケ レ ア			
	2		舞台衣装を着 たカリギュラ	シストルとシンバルの急テンポな音楽が舞台奥で鳴り出し、カリギュラが踊り子の短い衣装を着け、頭には花を飾って、舞台奥のカーテンの向こう側に影絵芝居のように現れ、滑稽な踊りの仕草をいくつか見せて、姿を消す。	103	106	セゾ ニア				ケ レ ア	衛兵 貴族 老貴族		
	3		カリギュラの 味方エリコン	エリコンが「あんたがたにはカリギュラ様に指一本触らせないぞ、あの方が望んでいたとしても。俺は奴隷の時から自由の身にしてくださり、ご自分の宮殿にお召しかえくださった。今なおこの悲惨なご主人様を愛することができるからだ。	107	108		エリ コン			ケ レ ア			
	4		偽情報	ケレアと老貴族たちは、クーデターを実行するときが近づいて味方は102人を超えそうという。カリギュラが、血を吐いたとニュースが流れるので、貴族たちはカリギュラの病床にあつま。ケレアと第一の貴族はそこにいない。	109	110					ケ レ ア	貴族 老貴族		
	5		財政改革 (お金と命)	カリギュラがそこにいるのに、①「金で治るもんなら、大金を払うのに・・・！と言った貴族は、そのお金を国庫に納めるよう命じられ、②病気が治るなら、私は命を神に捧げよう！と言った貴族は、では死んでもらおう、と衛兵にひつたてられた。「人生というものをな、もしお前が本心から愛していたならば、そいつをそんなに軽々しく賭けたりはしなかったはずだ」	111	114	セゾ ニア		カリ ギュラ			貴族		
	6		欺されないケ レア	セゾニアはケレアに、カリギュラが死んだと伝える。ケレアは足早に貴族たちの顔を見て回り、それからセゾニアのほうに向き直る。「大変悲しむべき報せですな、セゾニア！」カリギュラ登場し、ケレアに告げる「お見事だケレア、失敗だ！」	115	115	セゾ ニア		カリ ギュラ		ケ レ ア	貴族		
	7	死の 予兆	シビオンの別 れ	セゾニアが、カリギュラは毎晩二時間しか眠らないし残りの時間は、休む事もできず、宮殿の廊下をさまよい歩いている、と言う。そして、カリギュラからあなた方に勧告があり、今日は詩を楽しむために捧げられた日だということをお忘れなく。カリギュラが、シビオンも含めて詩人を招集して即興詩を作らせる。「題は死。作る時間は1分。」審査員はカリギュラ。シビオンの詩をカリギュラは褒め、終了する。戸口ではケレアが第一の貴族の肩をつかまえ、決行の時が来たことを告げる。そして、シビオンは、あなたにとっても、あなたにこんなにもよく似ているぼくにとっても、もう逃げ道はないのです。ぼくは旅に出ます、遠くへ。さようなら。」彼は出て行く。カリギュラはその姿を見つめている。	116	123	セゾ ニア		カリ ギュラ	シビ オン	ケ レ ア	詩人 メリュス 老貴族		
	8	死を 覚悟 するカ リギュ ラ	セゾニアを殺 す	シビオンは行ってしまった。カリギュラは、セゾニアを見つめ「お前はずいぶん長いことここにいるな、俺は29だ。お前はここの実に奇怪な悲劇、よく最後までつきあってくれた。お前にとっても、いよいよ幕の降りるときが来たぞ」この自由のおかげで、おれは孤独な人間の、神のごとき洞察力を身につけたのだ。セゾニアの死によって、永遠の孤独を完成できた。	124	131	セゾ ニア		カリ ギュラ	シビ オン				
	9		ケレアから 殺される	彼はそのままの位置でぐるっと一回りし、形相も物凄く、鏡のほうへ行く。そして、鏡の中の自分に告げる。「カリギュラよ！貴様には罪があるのだが、裁き手のいない世界で、罪のない人間はいない。この世界で、誰がおれを罰するというのだ！」武器の音がする！罪のないやつらが勝利の準備をしているのだ。」そして、エリコンが刺殺される。カリギュラは、「歴史に入るのだ、歴史に！」鏡は砕け散り、入り口という入り口から、武装した叛徒たちがなだれ込む。かの老貴族は背面から、ケレアはまっこうから、カリギュラに切りつける。最後の息をつぐとき、カリギュラは笑いながら喉を鳴らし、そして絶叫する「おれはまだ生きている！」	132	134		エリ コン	カリ ギュラ					

(注)紙の音がするので、開幕中は、このA4紙をしまってください。